



国際ロータリー第2790地区

THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH



千葉南ロータリークラブ会報

〔創立〕1964年3月2日

〔例会日〕毎・金曜日12時30分

〔例会場〕オークラ千葉ホテル

〔会長〕齋藤 昌雄

〔幹事〕植松 省自

〔会報委員長〕永安 重治

〔事務局〕〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階 (☎043-245-3204)

第2419回

平成25年9月13日(金) 点鐘12:30<<晴れ>>

◇ロータリーソング『我等の生業』

◇四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

◆お客様紹介

・本日のゲストスピーカー／1976-1977 年度R財団親善奨学生
山口 睦子様

・(株)千葉日报社 代表取締役社長 荻原 博様

・千葉RC／ 国吉晃甲様、関根洋一様

◆会長挨拶及び報告

暑かった夏もようやく終わり、ここにきて漸く朝晩涼しくなってきました。11月に新蕎麦例会を予定しておりますが、私どもでその蕎麦の種蒔きをしました。今、3cmほど芽が伸びておりますが、少し心配なのは台風が近づいていますので、大雨が降ると全部流されてしまい、もう一度種蒔きから始めないといけません。皆さんに是非、美味しいお蕎麦を提供できれば良いなと思っております。

◆委員会報告

<親睦活動委員会より> (杉本峰康委員長)

◎創立50周年記念親睦旅行について(出雲)

日程⇒ 9月29日(日)～30日(月) 玉造温泉泊

集合⇒ 羽田空港第1ターミナル ①時計下へ 06:30

◎第3分区B合同ゴルフ大会

日時⇒10月21日(月) 場所⇒山田ゴルフ倶楽部

<東仁川RC訪問及び日韓親善会議>にご参加の方は、説明会がありますのでお残り下さい。

(寺澤 一良会員)

◆ニコニコボックス報告

≪齋藤 昌雄会長・植松 省自幹事≫

山口様、本日の卓話、宜しく申し上げます。国吉様、関根様、ようこそお越し下さいました。ごゆっくりお楽しみ下さい。

≪江沢 一男会員≫

睦ちゃん、ようこそ！懐かしい人もいますので楽しんで下さい。

≪水野 浩利会員≫

生前、大変お世話になりました父・謙一の一周年のご案内をさせて頂きました。大変お忙しいことと思いますが、ご出席頂ければ幸いです。宜しくお願い致します。

≪村田 紀之会員≫

・山口睦子様、流暢な英語を是非お聞かせ下さい。

・後程お見えになるご予約の千葉日报社荻原新社長、どうぞ時間の許す限り、会談をしていって下さい。

・本日のデザートのお出される梨は、江沢会員からです。ご馳走様です。いつも有難うございます。

本日のニコニコボックス	5,000 円	累計	280,000 円
金の箱	420 円	累計	5,304 円

◆出席報告(会員数43名)

出席者数34	欠席者数 9	ピンター 4	修正出席率 88.37%
--------	--------	--------	--------------

千葉市内例会変更のご案内 [メニュー](#)にご利用下さい。

千葉RC	月	—	三井ガーデンホテル千葉
千葉西RC	火	—	センテイタワー「東天紅」
千葉幕張RC	火	9/10	アパホテル&リゾート東京ベイ
新千葉RC	水	9/25	京成ホテルミラマール
千葉北RC	水	9/25	ホテルポートプラザちび
千葉中央RC	木	—	三井ガーデンホテル千葉
千葉港RC	木	9/26	京成ホテルミラマール

第2420回例会

日時⇒ 平成25年9月20日(金) 点鐘12:30

卓話⇒ 『ともに進めよう！未来へつなぐまちづくり

～今後4年間の市政運営の基本方針～ 』

卓話者⇒ 千葉市長 熊谷 俊人 様

第2421回例会

<創立50周年記念親睦旅行>

日時⇒ 平成25年9月29日(日)・30日(月)

行先⇒ 出雲大社

本日の卓話



演 題⇒『私の幸せを紡ぐロータリー』

卓話者⇒ 1976-1977 年度ロータリー財団親善奨学生

山口 睦子 様



この度は、このような貴重な機会を与えていただきましてありがとうございます。

私が千葉南ロータリークラブから推薦を頂き英国へ留学をしたのは、1975年にロータリー財団奨学金について知り、チャレンジし運よく合格できたことに始まります。当初は、新千葉ロータリークラブ推薦ということでしたが、私がイギリスへの留学を希望しているということで、イギリスと交流がありました千葉南ロータリークラブに変更となりました。

千葉南ロータリークラブの越部平八郎さんのご尽力で、スコットランドのセント・アンドリュース大学へ留学が決定しました。セントアンドリュース・ロータリークラブがホストクラブとなり、ホストロータリアンのジョイご夫妻が大変よく面倒をみて下さいました。セントアンドリュース大学では言語学を学び、伝統的な大学生活を体験することができました。中でも寮の食堂で毎週実施されるフォーマルミールと呼ばれる夕食会は印象的でした。大学生は赤色のガウン、院生は黒のガウンを着用してラテン語のお祈りから始まる極めてフォーマルな夕食でした。セントアンドリュース大学は、イギリスのウィリアムズ王子とケイト王女が出会った大学です。

1年間の留学生生活を終え、帰国して公立の中学校の英語教師として勤務しました。教員として生徒たちへ伝えたものの中には、異文化経験、旅行中の体験、人々とのかかわり、生活をしたから語ることができることが極めて多かったです。1980年ころから日本の貿易黒字解消の一つとして国が JET プログラムを開始し、英語圏から若者をアシスタントして招致しました。そのアシスタントの英語の授業もスコットランドでの留学経験を大いに生かすことができ、アシスタントとの授業に興味を持って取り組むことができ、文部省(当時)の主催の JET プログラムのための研修会の講師としても参加することが数回あり、教員生活において大変有意義な経験となりました。

財団奨学生となったのをきっかけに越部様から千葉ロータリークラブを紹介頂き、活動に加わり幅広く様々な経験をすることができました。県内のロータリークラブとの交流、オーストラリアのロータリークラブとの交換プログラムも毎年あり、大変魅力的な活動に参加でき幸運でした。それが縁でオーストラリアに友人が増え、毎年オーストラリアへ行くことになりました。

今度は、友人が増えれば増えるほどオーストラリアへ住みたいと思うようになりました。ちょうどビクトリア州教育

省日本語アシスタント教員の募集があり、応募をしてみました。思っていたら、あまり物ごとを進める上での一般常識が必要とされる段取りを踏まずに行動を起こしてしまう性分で、たまたま合格してしまいました。合格した後から実際にオーストラリアへ行くまでは、公立学校の職員でしたので、クリアしなければいけない課題が多々あったのですが、その時に救っていただき、支援を頂いたのもロータリーの方でした。2年間のオーストラリア、ビクトリア州の公立高校へ派遣され、オーストラリア長期滞在の夢が叶いました。

帰国後は、船橋の中学校で英語教育に専念し、イギリスやオーストラリアで経験したことを十分生かしていきたいと考えていたところですが、オーストラリアと中学生の国際交流を始めるという白井市教育委員会に異動となりました。平成5年からこの交流事業に関わり、20年にわたり、派遣、受入れを毎年実施して現在まで1500人の両国の中学生や先生方が行き来しました。また、勤務地にあります白井ロータリークラブには、この国際交流では、ホストファミリーとして協力を頂いたり、多大なるご支援を頂いております。オーストラリアへのたった10日間の派遣の経験が中学生にとっては、大変大きなきっかけとなり、高校や大学で留学をしたり、英語の教師になったり、青年海外協力隊に加わりアフリカで国際協力に貢献している人もいます。

このような事業に関わり、継続できているのも、元をたどれば、40年近く前にロータリーが与えてくださった素晴らしい留学の経験が基礎となっていると考えられます。留学は、勿論英語力を付ける機会となり、国際理解を深め、将来のグローバル社会で活躍する若者の育成にもつながっていきます。しかし、改めて自分自身を考えた場合、ロータリーから得たものが、現在の自分の心の平静さ、自分の幸せに強く結びついていると思います。私の人生の節々で、必ずロータリーの方の支援、ご理解があったのです。

ロータリー財団の経験、ロータリーで経験したこと、ロータリアンとの関わり、幅広く様々なことを経験すること、自分の物差しが世界の基準ではないことに気づき、日本人のよさ、日本のよさに気づく、このような様々なことが重なって、今の自分が存在していると強く感じています。

私の幸せは、ロータリーが紡いでくれた、今も紡いでくれていると考えるのです。人間が幸せで心が安定していれば、人にもよくできる、前向きにチャレンジができるものと信じています。

この与えていただいた宝を今後も大切にしたい。今後もロータリーが多くの若者たちに幅広い経験ができるチャンスを与えてくださるようお願いいたします。

(文責 村田 紀之会員)

